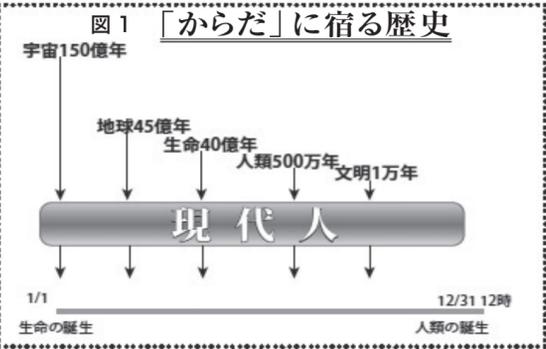


# 人は楽しむために生まれてきた



お釈迦さんの最期の言葉「怠るな」の本質を導き出し、  
これからの日本、人類のあるべき姿を提案する

## たまご保育園

たまごビル  
院長 石垣 邦彦



〒581-0061  
大阪府八尾市春日町1-4-4  
電話072 (991) 3398  
FAX072 (991) 4498  
ホームページアドレス  
http://www.tamagobl.com/

たまご理論で病気のしくみを考える

### 日本国民への提言

55

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

《数多くの異なる問題を、確かな原理で一挙に解決す》  
本紙2015年1月1日号で紹介したことを再度紹介します。

(1)藤原正彦氏は2010年文芸春秋7月号「日本国民に告ぐ」で「一般に多くの困難を解決しようとする場合、一つ一つ着実に解決しようとするのは誰でも考えられることであるが、大抵の場合、努力が噴出して成功しない。多くの困難が噴出して成功しないのは、それら全てを貫く何か一つの原理が時代や状況にそぐわなくなっているということを意味する。したがってこの原理を変えることで、困難を一気に解決する、というのが最も効果的なばかりか容易でもあるのだ」

(2)雑誌「致知」に重門冬三氏の「西郷隆盛」が連載中ですが、本年3月号に「難問は複数同時解決」とある一節が目についた。その部分をまず紹介したいと思います。

西郷隆盛は腕を組んで、じっと坂本龍馬を凝視し続けた。しかし、胸にケサリと云うものがあつた。それはいま坂本がいった「いまの時代は団子をひとつずつ串にさして置いてはダメだ。思い切って串を抜き団子を横一列に並べて、一度に食べるような対応策を講ずなければ間に合わない」という一言である。西郷は、たしかにその通りだと思つた。とありました。

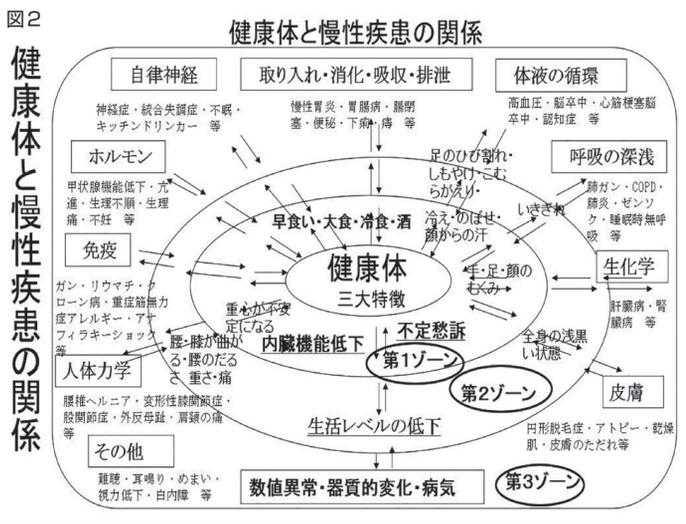


表2 人は楽しむために生まれてきた！  
～人間の生死は「上腹部のやわらかさ」が指標となる～

ROB治療で「上腹部のやわらかさ」がやわらかくなると…  
「入り出」がととのい、深く長くここちよい呼吸ができる

- 呼吸が深くない
- 循環が良くない
- 人体力学が安定し
- 自律神経がととのい
- 内臓全般の動きが活発になる

- 生きる力がつく ⇒ 生き方が身につく
- 総合的免疫力がつく ⇒ 予防ができる
- 自然の治癒力がつく ⇒ 治療が的確に
- 自然なバランス力がつく ⇒ 自然なケア
- 自然な死への流れができる ⇒ 穏やかな死

■人間の体の自然な「しくみ」が生かされ  
ROB 医療で人生が統合される！！

## 大阪万博に基本理念を提案する

7

表1 人間が生物として生きる条件

- 1) 食べられて生きている
- 2) 殺されずに生きている
- 3) 自然に適應して生きている
- 4) 生殖し、子を産み育てるために生きている
- 5) 我とは何か、どこから来てどこに行くのかを確かめるために生きている
- 6) 我は生物・地球の環境のためにいかに貢献できるかを発見し、活動するために生きている

このように本紙2回にわたり、同じ趣旨の内容を紹介しました。諸問題をつむぎつなぐ「一つの原理を串刺しにして同時に解決する必要があること」です。そしてそれぞれに、その解決策を述べました。

### 数多くの異なった問題を、確かな原理で一挙に解決する

【今までの日本人のあり方・日本の医療では解決できない諸問題】と題し現状を分析し、数多くの問題(平成35年には54兆円の医療費・現在でも社会保障給付費11兆円・国家財政1000兆円をこえる赤字・薬害・少子高齢社会などを列挙しました。

【「わたしたち人間は、「生きもの」です】と題し、人類の歴史(図1)とよりの「のちを確かにつなぐための表1」特に(4)の連続で「わたしたち人間も限りあるいのち」という事実を述べ、その「生きもの」としての立場を踏まえ、「生きもの・死にゆくこと」が重要で「人間の存在そのものの意味を述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

そのため、時間の経過とともに病状が重くなり、慢性的疾患にたいしては、医師だってその本体が何がかかわりません。

【「人間の「老化」と「死」は、「いのち」をつなぐ大切な役割」であり、その意味がわれわれ人類も一年草の草花と同じである。そのすばらしい役割を再認識する。】

【「健康体から慢性疾患を考える意義」と題し多種類の慢性疾患をたまご理論という考え方で同時解決する考えを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐ(行い)であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐ(行い)である」ということにあることを述べました。

【たまご保育園児の心得】

- ①正しい生活習慣を身につけて元気な子どもになります。
- ②人に、物に、全ての環境に感謝できる子どもになります。
- ③自らの考えを持ち、自らを表現できる子どもになります。

たまご保育園の園児である私たちは自らの「からだ」と「いのち」をどう生かすのかを、家庭・地域・日本・地球環境に貢献してゆきます。

この大きな目標をもって日々の生活に精進してゆきます。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。

【「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を基準にして慢性疾患に対処する必要があります。